

浮魚情報 (第4報)

平成30年8月3日

宮城県水産技術総合センター環境資源チーム

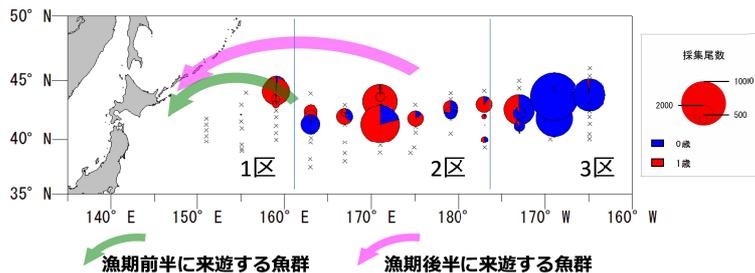
TEL: 0225-24-0139 Fax: 0225-97-3444

1. 平成30年度 サンマ長期漁海況予報 (道東～常磐海域)

平成30年7月31日付けで、「平成30年度サンマ長期漁海況予報(道東～常磐海域)」が水産庁から発表されました。本予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構東北区水産研究所が取りまとめを行い、北海道～千葉県までの各水産試験研究機関等とともに内容を検討し、サンマの長期漁海況予測を行ったものです。予報内容は以下のとおりです。

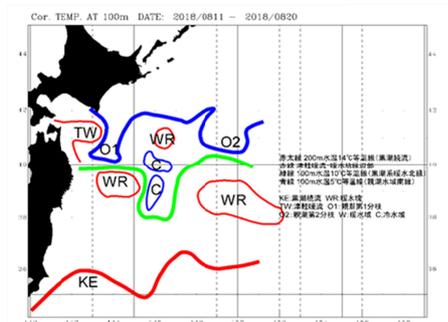
〈今後の見通し (漁況：平成30年8～12月，海況：平成30年8～9月) のポイント〉

- 漁況：**
- ・漁期序盤（9月中旬まで）の漁況は前年並みに低調に推移するものの、漁期中盤（9月下旬以降）は前年を上回り、漁期全体の来遊量も前年を上回る。
 - ・1歳魚（おおむね29cm以上）の割合が前年よりも高く、平均体重も大きい。
 - ・大型船出漁後（8月下旬）の漁場は択捉島以北の海域に形成される。9月中旬に色丹島周辺に主漁場が形成される。その後は親潮第1分枝から第2分枝にかけて漁場は分散する。
 - ・三陸海域への魚群の南下時期は遅く、漁場形成は例年より遅く10月中旬となる。



平成30年6月～7月に行ったサンマ漁期前分布量調査による表層トロール漁獲試験

- 海況：**
- ・近海黒潮の北限位置は平年並みで推移する。
 - ・親潮第1分枝の南限位置は平年並み～やや南偏で推移する。
 - ・親潮第2分枝の南限位置は平年並み～やや北偏で推移する。
 - ・津軽暖流の下北半島東方への張り出しはかなり強勢で推移する。



8月中旬予測水温分布

□詳細は、水産庁ホームページ (<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sign/180731.html>)，国立研究開発法人水産研究・教育機構ホームページ (<http://tnfri.fra.affrc.go.jp/press/h30/20180731/20180731sanmayohou.pdf>) (<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2018/20180731/index.html>) に掲載されています。